

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：北寺尾4丁目むつみ小規模保育施設	種別：地域型保育事業
代表者氏名：園長 岩崎 直子	定員（利用人数）：8（8）名
所在地：230-0074 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾4-4-10 サンヒルズB棟101号室	
TEL：045-716-8787	ホームページ：
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2018年4月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人毛里田睦会
職員数	常勤職員：1名 非常勤職員：8名
専門職員	保育士 5名 栄養士 0名
	看護師 0名 調理員 2名
	用務員 0名 保育補助 2名
施設・設備の概要	居室数：保育室1・調理室1 子供用トイレ及び手洗い場 事務室1 設備等：

③理念・基本方針

理念	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは基本的人権を尊重します。 ・施設利用者をはじめ地域社会の皆様の立場に立ったクオリティの高い福祉サービスを提供します ・積極的に地域社会にむけ、施設のオープン化を推進し、開かれた社会福祉を目指します。 ・全ての施設利用者及び地域社会の方々と人生の共生・共有をめざし豊かな地域福祉の向上に邁進します。
経営方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉事業を通して地域社会に貢献します。 2 施設職員は礼儀と感謝を重んじ、仕事を通して人間性を通して人間性を向上させ働く喜びをかんじます。 3 常に時代の変化・社会のニーズを見極め対応します。 4 常に保育と教育の融合、経営の向上を目指し自己革新を続けます。 5 堅実経営、透明性の確保、システム構築と改革を重視します。

④施設・事業所の特徴的な取組

緑の多い閑静な住宅街にある北寺尾4丁目むつみ小規模保育施設は社会福祉法人毛里田会により2018年に設立された1、2歳児を対象とした定員8名の乳児保育園です。保育においては、「子どもも大人も地域も、つながり合い、育み合い、紡ぐひと・モノ・コトを生み出す」を理念とし、「常に園児と保護者の立場に立ち地域に役立つ保育サービスを目指します。さらに豊かな自然の中で「心の力」「学ぶ力」「体の力」を重視し、子どもの才能を最大限に引き出す保育をします。かつ、保護者との満足度と感動を高めるサービスを常に提供しつづけます」を運営方針としています。特徴的な取り組みとしては、1、2歳児の異年齢による合同保育、少人数で家庭的な保育を行っています。給食は栄養に配慮された顔の見える関係の自園での調理で完全給食です。日常の保育においては、子どもの発達や興味に合わせた少人数の中で、好きな遊びを楽しめるようにしています。天気が良ければ毎日近隣の公園に遊びに出かけています。四季折々の自然に触れ、子どもたちの豊かな感性はぐくまれています。七夕やひな祭り等の行事では、提携園の子どもたちといっしょに楽しんでいきます。このようなアットホームな雰囲気の中で、子どもの主体性を大切にし、子ども一人ひとりの成長に合わせた保育を実践しています。少人数の良さを生かし、子どもが自主的に生活や遊びを行うことができるようにしています。生活に役立つ密接な遊びを取り入れ身近な自然の中で、体験を通じて感謝の心を育てることを大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月14日 (契約日) ~ 2023年1月31日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	回 (年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりを大切にしたい保育を実施しています

園は1、2歳児で定員8名の小規模保育施設です。周囲は公園が多く毎日散歩に出ています。歩くリズムは子どものペースで進んでいきます。ちょうを追いかけたり、散歩中の犬に手を振ったり、保育士はせかすことなくゆっくりと歩いていきます。公園に着くと子どもたちはどんぐりや葉っぱを集めたり、すべりだいで滑ったり、かけっこをしたりして楽しんでいます。保育士は絶えず危険が無いよう見守り、虫探しやかくれんぼなどいっしょに遊び、子どもたちの探索活動に寄り添っています。出かける前には靴を履く、上着を着るなど、子どもが自分でやりたい気持ちになるよう準備の時間をたっぷりとり優しく声掛けし、できないときには援助しています。

◆キャリアパスを踏まえた研修計画の充実、実践に取り組むことを期待します

法人ではキャリアパスを設定するとともに、これと連動して自己評価（人事評価）を行うなど、総合的な人事マネジメントシステムを展開しています。当園では、このキャリアパスを参照しながら、必要な園内研修を行うほか、職員を外部研修に参加させています。さらに非常勤職員には、園長によるOJT研修を行うほか、子育て支援員研修の受講を勧めるなど、園全体の保育水準の底上げを図っています。一方、当園では職員のキャリアアップに向けて計画的、継続的な研修計画の作成を課題としてあげています。他園の先行事例も参照しながら、キャリアパスを踏まえた研修計画の充実、実践に取り組まれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審致しまして、保育施設の運営に関わる様々な点や組織における振り返りを行う良い機会を得ることが出来ました。通常の保育を評価して頂く事を基本に職員一人一人が保育に対して向き合う時間を持てたこと、また、改めて問われるとなかなか至らない点もあったことや、基本を再認識することが出来たことは、貴重な経験となりました。

評価の結果の改善点に関しましては、今後より良い保育を行う上での具体的な示唆となり、施設全体でより質の高い保育を実践していくためには何をすべきなのか、問題点を分析していく所存でございます。

最後に第三者評価の受審に際し、ご多忙の中アンケートにお答えいただき、ご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。また、評価者の皆様には多くの評価・ご指導を頂きまして誠にありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり